

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 新潟放送

コード番号 9408 URL <http://www.ohbsn.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹石 松次

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局長

(氏名) 赤塚 幸

TEL 025-267-4111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,556	△3.2	△260	—	△230	—	△260	—
23年3月期第3四半期	14,001	2.8	△104	—	△77	—	△48	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △360百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △217百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△43.38	—
23年3月期第3四半期	△8.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,285	12,189	57.5
23年3月期	19,892	12,610	57.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,079百万円 23年3月期 11,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,765	2.3	451	29.3	454	20.7	191	12.4	31.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	6,000,000 株	23年3月期	6,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	640 株	23年3月期	581 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	5,999,376 株	23年3月期3Q	5,999,473 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,900	△0.9	218	1.8	114	28.1	19	12

（注） 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（6）重要な後発事象	10
5. (参考) 四半期の業績	11
（1）個別経営成績	11
（2）個別財政状態	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかな持ち直し傾向が見られるようになりました。しかしながら、欧州の債務問題などを背景とした海外景気の下振れに対する懸念に加えて、円高の進行、タイで発生した洪水の影響など、先行きは不透明なまま推移いたしました。

放送業界におきましては、テレビのスポット収入が一部で復調の兆しを見せたものの、本格的な回復までには至らず、ラジオ部門は依然として低迷が続きました。

また、情報サービス業界におきましては、企業による情報システムへの投資抑制傾向に加えて、タイの洪水の影響によるメーカーの製造遅れなどもあり、厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第3四半期連結累計期間における売上高は135億5千6百万円（前年同期比96.8%）となり、4億4千5百万円の減収となりました。

また、徹底したコストの削減を図り収益の確保に努めましたが、利益面におきましては、営業損益は2億6千万円の損失計上（前年同期は1億4千万円の損失計上）、経常損益は2億3千万円の損失計上（前年同期は7千7百万円の損失計上）、四半期純損益は2億6千万円の損失計上（前年同期は4千8百万円の損失計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

放送事業におきましては、ラジオ収入において震災以降顕著となったレギュラースポンサーによる番組の中止や減額に歯止めをかけることができず、テレビ収入では収益の柱となるスポット広告で一部復調の兆しが見られたものの、後半はタイの洪水の影響などもあり低調に推移したことから、前年実績を下回る結果となりました。また、その他の収入も前年に匹敵するような大型イベントが開催されなかったことなどから、前年同期を大きく下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は48億7千8百万円（前年同期比92.4%）となり、営業損益は3千3百万円の損失計上（前年同期は1億3千4百万円の利益計上）となりました。

情報処理サービス事業におきましては、県外のソフトウェア開発の受注が依然として復調しないことに加え、タイの洪水の影響によりメーカー側の部品、製品の製造に遅れが生じ、商品の確保が困難になるなど厳しい状況が続きましたが、売上は前年同期を僅かに上回りました。

当第3四半期累計期間の売上高は73億5千1百万円（前年同期比100.4%）となり、営業損益では2億4千1百万円の損失計上（前年同期は2億6千1百万円の損失計上）となりました。

ホテル及び飲食事業におきましては、依然として新潟市内でのホテル間競争が続くなかで、10月以降、売上の中心となる宴会部門や婚礼部門において順調に受注を伸ばしたものの、レストラン部門、宿泊部門において震災の影響などから苦戦を強いられ、前年同期の実績に届きませんでした。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は8億8千5百万円（前年同期比95.1%）となり、営業損益では3千1百万円の損失計上（前年同期は2千3百万円の損失計上）となりました。

建物サービスその他事業におきましては、不動産、保険収入、放送業務収入において順調に推移した一方で、売上の主力である施設管理部門において各種工事の受注減などにより売上が前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は8億8百万円（前年同期比96.0%）となり、営業利益では4千3百万円の計上（前年同期は4千5百万円の利益計上）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は192億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億7百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が77億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千4百万円減少しております。これは主に受取手形及び売掛金が10億8千5百万円減少したことなどによります。固定資産では、115億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて4千7百万円の増加となりました。

負債の部では、流動負債が42億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億7千4百万円減少しております。これは主に賞与引当金が2億3千万円減少したことによるものであります。固定負債は28億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて8千8百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加したことによります。

純資産の部では、利益剰余金が3億1千2百万円減少したことなどにより121億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億2千万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は57.5%となり、前連結会計年度末に比べて0.1ポイント増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期以降の見通しにつきましては、景気の緩やかな持ち直し傾向は続くと思われるものの、欧州の債務問題、円高の進行、タイの洪水による影響など先行きに関しては不透明感が拭い去れず、楽観視はできない状況と思われまます。

このような景気見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつきめ細かな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。

放送事業におきましては、売上の主力となるスポット収入の更なる取り込みを図ります。情報処理サービス事業におきましては、引き続き安全・安心の観点からデータセンター利用の営業活動を積極的に行うなど自治体等の発注案件のさらなる獲得に努めるとともに、民間企業に対する営業活動を推進してまいります。また、各事業部門におきまして、さらなるコストの削減を図ります。

以上の見通し及び方針に基づき、連結業績予想につきましては現時点において、平成23年5月13日に公表いたしました「平成24年3月期の通期業績予想」の予想数値を修正いたしておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,666,785	2,694,480
受取手形及び売掛金	4,073,879	2,988,234
有価証券	286,906	246,075
商品	97,565	366,696
原材料	16,222	14,852
仕掛品	242,554	635,431
繰延税金資産	258,572	284,761
その他の流動資産	766,183	520,485
貸倒引当金	△11,304	△8,334
流動資産合計	8,397,364	7,742,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,557,385	3,419,143
土地	1,963,181	2,324,664
リース資産（純額）	763,505	860,271
その他（純額）	1,314,450	1,083,561
有形固定資産合計	7,598,521	7,687,640
無形固定資産		
投資その他の資産	290,532	278,338
投資有価証券	1,584,489	1,641,711
繰延税金資産	1,233,139	1,114,865
その他の投資及びその他の資産	834,535	862,549
貸倒引当金	△46,484	△42,693
投資その他の資産合計	3,605,679	3,576,431
固定資産合計	11,494,733	11,542,411
資産合計	19,892,097	19,285,095
負債の部		
流動負債		
未払金	2,334,716	2,366,149
短期借入金	1,085,800	1,166,640
未払法人税等	30,687	5,809
賞与引当金	410,186	179,427
その他の流動負債	657,396	526,053
流動負債合計	4,518,786	4,244,079
固定負債		
長期借入金	1,159,500	1,255,890
リース債務	605,081	652,155
退職給付引当金	369,668	348,233
役員退職慰労引当金	347,188	243,880
アナログ放送設備解体引当金	—	36,977
その他の固定負債	281,359	314,230
固定負債合計	2,762,797	2,851,366
負債合計	7,281,583	7,095,446

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,296,509	10,983,734
自己株式	△425	△444
株主資本合計	11,601,834	11,289,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△177,381	△209,675
その他の包括利益累計額合計	△177,381	△209,675
少数株主持分	1,186,061	1,110,284
純資産合計	12,610,513	12,189,649
負債純資産合計	19,892,097	19,285,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	14,001,824	13,556,058
売上原価	10,250,068	10,036,473
売上総利益	3,751,756	3,519,584
販売費及び一般管理費	3,855,759	3,779,706
営業損失(△)	△104,003	△260,122
営業外収益		
受取利息	1,619	1,287
受取配当金	29,424	31,264
受取賃貸料	7,832	6,585
その他	17,574	20,610
営業外収益合計	56,450	59,747
営業外費用		
支払利息	27,905	28,114
その他	2,073	1,704
営業外費用合計	29,978	29,819
経常損失(△)	△77,531	△230,193
特別利益		
固定資産売却益	42	78,713
投資有価証券売却益	37	1,062
その他	—	14,427
特別利益合計	80	94,203
特別損失		
固定資産除却損	3,038	20,729
投資有価証券評価損	3,662	—
アナログ放送設備解体引当金繰入額	—	40,640
その他	331	20,808
特別損失合計	7,031	82,178
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,482	△218,169
法人税等	15,358	109,474
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△99,841	△327,643
少数株主損失(△)	△51,718	△67,362
四半期純損失(△)	△48,122	△260,280

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△99,841	△327,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△117,360	△32,427
その他の包括利益合計	△117,360	△32,427
四半期包括利益	△217,202	△360,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△164,545	△292,574
少数株主に係る四半期包括利益	△52,657	△67,496

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,188,311	7,274,743	915,941	622,828	14,001,824	—	14,001,824
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	92,726	49,676	15,165	219,498	377,068	△377,068	—
計	5,281,038	7,324,420	931,107	842,327	14,378,893	△377,068	14,001,824
セグメント利益又は損失 (△)	134,755	△261,633	△23,998	45,592	△105,284	1,281	△104,003

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,787,490	7,299,829	870,014	598,723	13,556,058	—	13,556,058
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	90,949	51,987	15,470	210,090	368,497	△368,497	—
計	4,878,440	7,351,817	885,484	808,813	13,924,555	△368,497	13,556,058
セグメント利益又は損失 (△)	△33,517	△241,220	△31,578	43,418	△262,896	2,774	△260,122

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

5. (参考)

平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,878	△7.6	△34	—	16	△90.4	△95	—
23年3月期第3四半期	5,281	1.1	128	63.3	174	31.7	71	487.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第3四半期	△15	88	—	—
23年3月期第3四半期	11	92	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第3四半期	10,978	9,088	9,088	9,088
23年3月期	11,535	9,268	9,268	9,268